

自分のできることを 地域の場で活かす

カコン、カコン...と軽快な音が聞こえてくるその場所では、卓球を楽しんでいる人たちがいます。ここは伝上山にある「あつまりどころ虹」。卓球を教えている大高利恵子さんは、もともとのスペースの名前を活動名にして、卓球やギターの教室と悩み相談室を開いています。

将来について「自分にできることはなんだろう?」と考えていた大高さんは、地元多賀城にコミュニティスペースがあることを知り、好きで得意だった卓球やギターを教えることを決めました。「卓球やギターを通して、楽しみや生きがいを見出してくれたらうれしい」という大高さんの想いが通じているのか、参加者の方々は充実感・達成感を得ながら楽しそうに参加しています。



ワンコイン(500円)卓球交流会では、会場に集まった人同士で卓球対決をします。



着物の着付けが得意な方とコラボ。着物姿と楽器の組み合わせが粋です。



県外からの楽器奏者も交えて音楽ライブ「虹フェス」を開催。

あつまりどころ虹

検索

活動日:火、水、金、日 10:00~15:30
お問い合わせ:niji.pinpon@gmail.com



ヒント from たがさぼPress

たがさぼのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します!

2019年4月4日(木)掲載 /

英語でできます!
日本流のおもてなし

2019年4月16日(火)掲載 /

活動中のリスクに備えて
ボランティア活動保険

2019年4月18日(木)掲載 /

お寺が貧困問題に取り組む
おてらおやつクラブ

“たがさぼPress”とは?

たがさぼスタッフによるブログ。興味がわいたら「たがさぼPress」へ!
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>



“tag”のアンケートのお願い



今後の誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします!

また、以下のような情報もお待ちしています!

- 自分たちの団体を取材してほしい
- ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
- こんな話題を取り上げてほしい

たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

TAGAJO Future Labo 受講生募集!

5th season

地域のため、社会のため、そして自分自身のために「何かしたい」...。そんな想いを持つ方を対象に、一歩踏み出す・動き始めるキッカケを仲間と一緒に見つけ出す連続講座です。エクスカッション(体験型見学)やワークショップを通して、想いの整理やアクションを起こすきっかけづくりを行います。日程や内容など、詳細はお問い合わせください。

- 日程 2019年7月~2020年1月(6回連続講座)
- 会場 多賀城市市民活動サポートセンターほか
- 定員 10名程度
- 費用 無料
- 申込み 多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話にて
- 問合せ 022-368-7745(多賀城市市民活動サポートセンター)

7月7日(日)の1回目は公開トークイベント!

先駆者の方のトーク、ぜひお聞きください!

まずは1回目を聞きにきてみてね



日常の中で平和を考える



1945年8月6日に広島市、8月9日に長崎市へ原子爆弾が投下され、7月10日には仙台市への空襲がありました。74年の月日が経とうとするその前に、多賀城や仙台で、戦争や平和、幸せについて考える機会をつくる「長崎の語り部から学ぶ会」の奥村志都佳さんの取り組みをご紹介します。

やっぱり平和は
大切です

1

次世代へ戦争と平和を語り継ぐ

奥村さんは長崎県出身・仙台市在住。「原爆と空襲」「戦争からの復興と震災からの復興」という自身が暮らした二つのまちに共通点を見出し、長崎出身として宮城で戦争のことを伝えたいと思いましたが、自身は戦争を経験していないため、伝える立場になってよいものだろうかと迷いました。しかし、尻込みしては戦争の経験を語れる人がどんどんいなくなってしまうと思い、自分ができることをやろうと2017年に活動をはじめました。

2

大切なのは「想像する」こと

奥村さんの活動は、「憲法9条改正の是非を問う」「何かを主張すること」ではありません。自分ができる活動として、気軽に平和について考える機会を大切にしたいと思い、はじめた企画が「西から魔女がやってきた」です。原爆に関するDVD上映や語り部の話、パネルや戦争当時の生活用品の展示などから、戦争のことを知り当時の日常生活を感じることで、「平和、幸せって何だろう」と考えるきっかけをつくっています。

3

ボランティア体験で考えを深める

企画には学生から社会人まで、さまざまな人たちがボランティアとして関わっています。単に人手が必要というだけでなく、企画に関わることでより自分事として考えを深めてもらうためです。

たがさぽスタッフも昨年の企画にボランティアとして参加し、「ファットマン（長崎に投下された原子爆弾）」の実物大をビニール袋で再現する展示を担当しました。



「こんな大きいものが降ってきたのか」と思うと同時に、「こんな大きさで何万人も殺してしまうんだ」と驚きました。今の自分が平和な日常を過ごせていることを改めて実感しました。

「ファットマン」を再現。全長：3.25m、直径：1.52mで軽自動車とほぼ同じ大きさです。

参加者の感想



学校で学ばないことをより詳しく知り、戦争を繰り返してはいけなさと再認識しました。



戦争から立ち上がり、命をつなぎ、メッセージを発信していく力強さを感じました。



怖くてまともに見たり聞いたりすることができませんでした。



今の日本も決して平和な国、美しい国とは言えないと思います。



戦争はこの展示で見るよりずっと恐ろしい。もっと真剣に考える場でないかと伝わりません。

戦争を体験した人とそうでない人でも見え方が全然違います。命の大切さ、日常の尊さ、恐怖、現状を見直すこと、各々が改めて考えるということが大切です。



展示の様子。それぞれが想いを巡らせました。



イベントのお知らせ

第3回 西から魔女がやってきた
平和を語るものがたり
～二重間からのおくりもの～

日程 2019年7月13日(土)～15日(月・祝)
10:30～15:30
会場 多賀城市市民活動サポートセンター
フリースペース2階・3階
参加費 無料

記録映画
「二重被爆 語り部 山口隼の遺言」
特別上映会

日程 2019年7月28日(日)
13:30～15:30
会場 せんだいメディアテーク
7階スタジオシアター
参加費 無料

両イベント共通連絡先 080-1805-0702



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



@tagasapo
たがさぽのツイッターへの
フォローをお願いします！



<https://www.tagasapo.org/>
たがさぽのホームページは
こちらへアクセス！